

目 次

○第1号（2月3日）

議事日程 第1号	1
本日の会議に付した事件	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のため出席した者	2
事務局職員出席者	2
開会・開議	3
日程第 1 会議録署名議員の指名について	3
日程第 2 会期決定について	3
日程第 3 議案第 2号 令和3年度榛東村一般会計補正予算（第11号）に ついて	3
閉 会	10

令和4年第2回

榛東村議会臨時会会議録

第1号

2月3日(木)

令和4年第2回榛東村議会臨時会会議録第1号

令和4年2月3日（木曜日）

議事日程 第1号

令和4年2月3日（木曜日）午前9時31分開議

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期決定について

日程第 3 議案第 2号 令和3年度榛東村一般会計補正予算（第11号）について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（11名）

1番	齊藤 将史 君	2番	須田 仁美 君
3番	三俣 実 君	4番	波多野 佐和子 君
5番	中島 由美子 君	6番	生方 勇二 君
7番	善養寺 孝 君	9番	小野関 治義 君
10番	清水 健一 君	11番	小山 久利 君
12番	南 千晴 君		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

村 長	真塩 卓 君	副 村 長	倉持 直美 君
総務課長	清村 昌一 君	企画財政課長	早川 弘行 君
住民生活課長	村上 誠 君	健康保険課長	安田 睦 君
産業振興課長	山口 誠一 君		

事務局職員出席者

事務局 長	飯塚 邦守	書 記	津久井 久美
-------	-------	-----	--------

◎開会・開議

午前9時31分開会・開議

○議長（小山久利君） 改めまして皆さん、おはようございます。

ただいまから令和4年第2回榛東村議会臨時会を開会いたします。

出席議員の確認を行います。議員は全員出席であります。

よって、本日の会議は成立いたします。

これより会議を開きます。

本日の会議は、議事日程第1号により進めてまいります。



◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（小山久利君） 日程第1、会議録署名議員の指名についてを議題といたします。

会議録署名議員の指名は、会議規則第118条の規定により、議長において行います。

4番波多野佐和子議員、5番中島由美子議員を本日の会議録署名議員に指名いたします。



◎日程第2 会期決定について

○議長（小山久利君） 日程第2、会期決定についてを議題といたします。

第2回臨時会の会期については、本日1日限りとしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（小山久利君） 異議なしと認め、本臨時会の会期は、本日1日限りと決定いたしました。



◎日程第3 議案第2号 令和3年度榛東村一般会計補正予算（第11号）について

○議長（小山久利君） 日程第3、議案第2号 令和3年度榛東村一般会計補正予算（第11号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

早川企画財政課長。

〔企画財政課長 早川弘行君発言〕

○企画財政課長（早川弘行君） それでは、議案第2号 令和3年度榛東村一般会計補正予算（第11号）について、説明申し上げます。

議案書、それから議案参考資料ともに1ページでございます。

まず、議案書のほうをお願いいたします。

一般会計補正予算（第11号）は、歳入歳出それぞれ1億1,262万1,000円を増額し、総額を76億

3,167万7,000円とするものです。また、第2条におきまして繰越明許費の補正をお願いするものであります。

今回の補正につきましては、新型コロナウイルス感染症対策の国の臨時交付金、これを活用する事業などについて予算計上するものでございます。

歳入歳出予算の内容は後ほど説明させていただきます。

議案書の最後のページ、4ページ、お願いいたします。

第2表、繰越明許費補正。まず、追加といたしまして、経済活性化対策事業8,079万5,000円、それから、変更といたしまして、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業、こちらにつきましては、先月議決いただいた額に3,052万6,000円を加え、1億7,468万7,000円とするものでございます。ともに年度内の完了が困難であるため繰り越そうとするものでございます。

続いて、議案参考資料のほうをお願いいたします。議案参考資料4ページになります。

議案参考資料4ページ、初めに、歳入の事項別明細書でございます。

16款2項1目総務費国庫補助金8,874万2,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金。

それから、次の20款1項財政調整基金の繰入れを予定してございます。

次の5ページからが歳出の事項別明細書になります。5ページをお願いします。

2款1項14目地方創生臨時交付金費8,079万5,000円、経済活性化対策事業。村内事業者支援ということで、今年度、それから昨年度と実施いたしました商品券の発行を行います。過去2回はプレミアム分を付加した商品券を住民の皆さんに購入していただきましたが、今回は1人当たり5,000円分の商品券を世帯人数分郵送し、使用していただくことを計画しております。議決いただけましたら、商品券の印刷等、準備を行い、5月から6月にかけて配布を見込んでおります。

続いて、3款1項1目社会福祉総務費3,052万6,000円。住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業。先月の議会で同じ事業を議決いただきました。先月のものは本会議で説明いたしましたとおり、国の制度で住民税非課税世帯等に対し支援を行うものでございました。住民税というものにつきましては、均等割と所得割、この2つの合算でございます。今回提案したものは、住民税均等割のみ世帯、これを対象にするもので、所得に応じて課税される所得割が課税されていない、かかっていない世帯でございます。均等割のみ課税世帯は非課税世帯と年間所得に大きな差はないにもかかわらず、国の給付金の対象外となります。均等割のみ世帯につきましても生活支援が必要と考え、独自の施策として行うことといたしました。

続いて、6ページをお願いいたします。

3款1項3目障害者福祉費、こちらにつきましては給付費の不足が見込まれるための増額でございます。

最後になりますが、3款2項1目児童福祉総務費、こちらにつきましては財源内訳の変更でござい

ます。子育て世帯等臨時特別支援事業の所得制限を超える世帯への村独自の給付につきまして、国の臨時交付金の対象とするものでございます。

榛東村一般会計補正予算（第11号）の説明は以上となります。ご審議の上、お認めいただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（小山久利君） 提案理由の説明が終わりました。

ここで質疑を行います。質疑ございませんか。

6番生方勇二議員。

〔6番 生方勇二君発言〕

○6番（生方勇二君） 6番生方です。

議案参考資料の一番最後、6ページ、財源内訳の変更でございますけれども、これは今まで多分一般のほうで予定したものを国庫補助金のほうに変更するということだと思っておりますけれども、これについて新たに国のほうから補助金が来たので、振り替えるということでしょうか。

○議長（小山久利君） 企画財政課長。

〔企画財政課長 早川弘行君発言〕

○企画財政課長（早川弘行君） 年末年始にかけて、国の補正予算、それから新聞発表等もございましたが、国のコロナに対します臨時交付金、これが新たに交付されることになったものでございます。その交付金につきまして、この先ほど言った18歳以下の子どもたちへの所得制限を超える部分、これにつきましてもこの交付金の対象にしたいと、そのように考えたものでございます。

○議長（小山久利君） ほかに質疑ございませんか。

1番齊藤将史議員。起立でお願いします。

〔1番 齊藤将史君発言〕

○1番（齊藤将史君） 商品券の作成に関してちょっと以前から聞きたいと思っておりますけれども、偽造・変造の予防という観点において何か方策を持っているのかどうか、あるいは今現在やられているのかどうかちょっとお聞きしたい。

○議長（小山久利君） 山口産業振興課長。

〔産業振興課長 山口誠一君発言〕

○産業振興課長（山口誠一君） はい。ただいまのご質問の偽造・変造でございますが、商品券につきましては、事業者さんのほうに対策としまして、ブルーライトで反応するライトを参加される事業者さんには配布をさせていただき、そちらのほうで確認ができるように、商品券にはそれぞれその反応する細工をしたものが配布されます。それを各事業者さんのほうではブルーライトに照らして、変造であるかどうかということが確認できるような流れを取ったもので配布をさせていただいてというものになります。単純にカラーコピー等をした場合には確認ができませんので、そういったものは排除できるかと思われま。

以上です。

○議長（小山久利君） 1番。

〔1番 齊藤将史君発言〕

○1番（齊藤将史君） 障害者福祉に関してなんですが、給付不足ということで当初の計画とはちょっと違って増えたと、増額したということになると思うんですが、それは転入者で障害者が来た、あるいは予測以上に障害者が増えたということで増加要因というのが何なのかというのをちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（小山久利君） 安田健康保険課長。

〔健康保険課長 安田 睦君発言〕

○健康保険課長（安田 睦君） こちらの補装具の給付・修理費のところは、車椅子や補聴器、それから義足や下肢装具、座位保持装置等の、そういった補装具に対しての新たな給付の交付申請や、それから、壊れてしまったということで修理の申請が出たものに対して給付する事業費になります。当初見込んでいた数よりも交付と修理の申請が多かったということで、今回補正をお願いするものでございます。

以上です。

○議長（小山久利君） 1番。

〔1番 齊藤将史君発言〕

○1番（齊藤将史君） ということは、今、物価上昇局面ということになってはいますけれども、そういったことは榛東村というか行政としては今のところこれまで考えてなかったというふうに理解していいのでしょうか。

○議長（小山久利君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 安田 睦君発言〕

○健康保険課長（安田 睦君） 物価上昇というよりは、今申し上げましたように、障害をお持ちの方がどういったもの、こういった装具をどれだけ申請や修理が出てくるかというのは年度当初ではある程度見込みで立てておりますので、それが見込めなくて、多くなったというところもあるかとございます。

ちなみに車椅子の交付が2件とか、補聴器が2件、修理が例えば5件、車椅子は5件、補聴器が4件とか、そういうふうに壊れたりとかするのもある程度予測はしましても、見込めないこともございますので、物価上昇というよりは当初の見込みの数より少し多く今回は希望が出ているということでございます。

以上です。

○議長（小山久利君） ほかに質疑ございませんか。

5番中島由美子議員。

〔5番 中島由美子君発言〕

○5番（中島由美子君） 議案参考資料の5ページですかね。経済活性化事業ということで郵便料。あったかしんとう元気応援商品券、これは先ほどブルーライトということだったんですけども、これは全ての事業者ブルーライトで点検できる道具がもう渡っていると。それと、もう一つは、その中で今回は募集を新たにかけるのか。新たにかけるからブルーライトもできるのかということと、それが1問目ですね。

2問目は、あったかしんとう元気応援商品券、これについては前と同じように商工会に行かないと引き換えられないのか、それとも郵便で送付されるのか。

3番目は、これについては、その金額をそのまま商品券にしてという形なのか。プレミアムがついてないからそういう形なんだろうと思いますけれども、ちょっとそこら辺を整理して答えてください。

○議長（小山久利君） 企画財政課長。

〔企画財政課長 早川弘行君発言〕

○企画財政課長（早川弘行君） 幾つかご質問ありましたけれども、2問目の配布の仕方について私のほうから答えさせていただきます。

先ほど私が11号補正予算の説明をしたときに、今回は1人当たり5,000円の商品券を世帯人数分郵送し、使用していただくことを計画していると、そのように説明させていただきましたので、それでお分かりいただけるかと思います。

○議長（小山久利君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山口誠一君発言〕

○産業振興課長（山口誠一君） 最初のご質問です。事業者さんにつきましては、今まで行われておりましたプレミアム商品券の事業者さんのみではなく、新たに募集をかけさせていただきます。そのため、新たに事業を始められる方が今回のあったかしんとう元気応援商品券の取扱い事業者となりたいという場合には、その方に改めて手続等も必要となりますので、その際に確認のための器具等の配布、また、従前でプレミアム商品券の事業に参加されている事業者さんにつきましても、新たな取扱いということになりますので、併せて募集の際に手続をしていただくような流れになるかと思われま

す。
なお、こちらの事業者さんの募集につきましては、商工会に加入されている方、または加入されていない方等もございますので、広報等を活用させていただき、募集をかけているということが周知できるような形を取らせていただければと考えております。

また、こちらの商品券につきましては、以前より行われているプレミアム商品券とは異なりまして、配布額イコール利用額ということになりますので、先ほど財政課長からご説明ありましたとおり、1人当たり5,000円の商品券ということで活用をいただければと考えております。

以上です。

○議長（小山久利君） 5番。

〔5番 中島由美子君発言〕

○5番（中島由美子君） 今、ブルーライトの器具を新たにということだったんですが、それはそんなに大した金額でなくて、購入して渡してしまうようなものなのか、それともここでは備品では上がってないけれども、備品で買って、村でその時々貸与するものぐらいのものなのかよく分かりませんが、それが1問目。ブルーライトをどうするのかと。器具は渡すようなお話だったように思いますけれども。

それとあと、先ほど企画財政課長が言った世帯人数分を郵送するというところでございますけれども、こういうのは今まで榛東村で何年か商品券やっていますけれども、初めてなのか。前もやったけれども、今回もやるのかというのが2問目。

3問目は、もし初めてだとすると、どういう状況があつてそういうふうになることになったのか教えてください。

○議長（小山久利君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山口誠一君発言〕

○産業振興課長（山口誠一君） 1問目のブルーライトの取扱いでございますが、こちらにつきましては、今想定させていただいておりますのは、商品券の印刷、発行につきまして商工会と業務委託を締結させていただき考えております。その中の業務の一環としてブルーライトの購入、事業者さんへの配布を含めての委託となります。そのため、備品での購入等を予算化しているものではございません。全て予算の中でいきますと、12節の委託料、こちらの予算の中での対応となります。そのため、村での備品の台帳等の整備、そういったものは一切ございません。

以上です。

○議長（小山久利君） 暫時休憩いたします。

午前9時50分休憩

午前9時50分再開

○議長（小山久利君） 会議を再開いたします。

企画財政課長。

〔企画財政課長 早川弘行君発言〕

○企画財政課長（早川弘行君） 商品券の発行方法、配布の仕方についてご質問があつたかと思えます。あまり昔のことはちょっと私も分からないんですが、今年度、それから昨年度同じようにコロナの関係で商品券を発行した際は、先ほど言ったようにプレミアム分を付加したものを住民の方に買っていただきました。というのも、そうしたほうが公費負担、それから住民の方も少し負担していただいて、村内の商店等というか村内で動くお金の額、これを増やそうとするためにそのような方法を

2年間2回ほど取らせていただきました。

ただ、今回につきましては、なかなか様々な理由があって買いに行けない、購入することができないというご意見もありましたので、今回、規模的には半分になってしまいますが、今回は郵送で榛東村の全世帯、全員の方に商品券をお送りさせていただいて、使用していただく、このようなことを考えたものでございます。

○議長（小山久利君） よろしいですか。

5番。

〔5番 中島由美子君発言〕

○5番（中島由美子君） はい、3問目です。

ただいま企画財政課長のように買いに来れないという人もいらっしゃるということを配慮して、今回は郵送するということは大変ありがたいことだと思っていますね。ぜひ今後もそのようにお願いします。

1問目ですけれども、ブルーライトの単価は大体幾らぐらいのものか、今想定範囲で分かっているのか、分かってないのか。大したものじゃないのかということだけ最後にお聞かせください。

○議長（小山久利君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山口誠一君発言〕

○産業振興課長（山口誠一君） ブルーライトの単価につきましては、単品で幾らということで見積りは考えておりません。

委託につきましては、そういった発注形態として商品券の印刷業務等を含めて、商工会と今後契約を結ばせていただくということで考えております。

以上です。

○議長（小山久利君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（小山久利君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第2号については、委員会付託を省略したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（小山久利君） 異議なしと認め、議案第2号については、委員会付託を省略いたします。

討論を行います。

初めに、反対の討論を許可いたします。討論ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（小山久利君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

直ちに採決を行います。

議案第2号 令和3年度榛東村一般会計補正予算（第11号）について、原案のとおり可決することに賛成の議員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（小山久利君） 全員賛成。

よって、本案は原案のとおり可決されました。



◎閉 会

○議長（小山久利君） これで本日の会議を閉じます。

以上をもちまして、令和4年第2回臨時会を閉会といたします。

大変お疲れさまでした。

午前9時53分閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

榛東村議会議長 小 山 久 利

榛東村議会議員 波 多 野 佐 和 子

榛東村議会議員 中 島 由 美 子